



全大教教研集会へ行く2



～ 編集者 S 名古屋放浪記(2) 分科会 A と宴 1～

分科会 A は「組織づくりと組合のあり方」に参加しました。全大教大西委員長が組織拡大を前面に打ち出しており、拡大期間を設け全国的に取り組みたいという話があり、その後、単組からの実情や今後の展望など報告がありました。各単組なかなか過半数を満たしておらず、どのようにしたら組合員が増えるのか知恵を出していたようです。また、ある大学で、大西委員長が過去に行った運動を行った結果、組合員がかなり増えたという報告があり、「委員長の言うとおりにしていれば間違いない」みたいな雰囲気や部屋全体に蔓延させ、しまいには「私たちは大西チルドレン」なんて発言もありました。ただ、その運動には多額の費用がかかることもあり、多くの単組は財政が厳しいなか、なかなか踏み切れるとは思えない。また熊大の場合は、さまざまな運動をしても事務職員加入はゼロといってもいいし、教員についても学部によって加入率は大きく違って来る。まあ、それぞれの職場風土の問題もあり一概に「この運動をしたら組合員が増える」ということはないように思える。あとは組合自体がさまざまな成果を残し、組合がなくなれば、使用者側と唯一交渉できる団体が無くなり、就業規則における不利益変更等が起こりえることを教職員に理解してもらえないと僕は思うのさ。さて、お堅い話はさておき、懇親会にいこうかな。

懇親会は盛り上がったよ。自分たちで盛り上がったというよりも、名古屋大学実行委員の皆さんの芸の多さに盛り上がりました。太鼓、踊り、胡弓、ギター、合唱とホント芸人の宝庫だったよ。

写真の一部を掲載します。



「芸は身を助ける」とはよく言ったものだ。はじめは静かだった懇親会場も、彼らの芸に触発されるかのように盛り上がってくる。このように名古屋大学全体が僕らを歓迎してくれた。まだまだ書きたいが、ぼやけなくなるのでこのへんで…。次号は分科会 B および帰宅までといこうかな。

編集者のぼやき

あやうくぼやけなくなるところだった。やっぱ、ぼやきは入れないと、オイラの吐け口が無くなっちゃうからね。とは言ったものの何をぼやこうかしら…。

そうそう、オイラの愛車が廃車になり7ヶ月。まあ、もらい事故だったんだけど、手厚い補償もないまま処分したわけで、現在の主な移動手段はチャリ(自転車)である。しかし、チャリだと行動範囲が限られてしまうので、なかなか外へ出て行く気にはなれない。そのせいか、最近

自宅に引きこもり気味である。オイラを知る人達は「アイツが引きこもりなんて冗談だろ」と思われるだろうが、人とは変わってしまうものですね…。まあ、「やまくら～ズ」を書いているだけまだ大丈夫」という見方もあるんだけどね。オイラは今、陽のあたる場所へ出ようと自身奮闘中なのだ。あの頃のように、「外を自由にほっつき歩きたいな」なんて思えるようになってきた。頑張れ自分!!輝け自分!!

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.10 2005/10/18